

# 子育て支援の充実・図書館行政

松本 義明議員

## 質問

地域の中で子育てを助け合うファミリー・サポート・センター事業は開始から10年で会員数、活動回数ともに急増している。会員相互のコーディネート、事業全体の運営を担っているアドバイザーの現状は、

## 福祉部長

活動が多岐に渡っている。対応が困難な支援も行っている。

## 質問

現在抱えている課題の解決に向けてアドバイザーの増員、今後の事業充実に向けて計画策定と必要な予算措置を行なうべきではないか。



ファミリー・サポート・センター事業の様子

## 市長

今後も市民ニーズの増加が見込まれており事業を充実させていく。真に必要な子育て支援事業として適切な対応を図っていく。

## 質問

人間市図書館基本計画に基づく現在までの取り組み状況は、

## 生涯学習部長

地域情報拠点施設として情報収集・発信、子どもや高齢者の居場所づくり、市民参加型の図書館運営、図書館を通じた地域づくりの実践などを行っている。

## 質問

これからの図書館づくりは各機能を高めることが求められており人・資料・施設の順で充実させていくべきであると考えているがご見解は、

## 生涯学習部長

図書館司書の専門性の発揮、運営ボランティアの体制づくりを進めていく。資料の寄贈に向けてPRをしていく。他の社会教育施設と協力してキッズスペース、交流スペースの確保を検討していく。

【このほか】 SNS(人間市公式Facebook)を活用した広報広聴について質問。